

## 平成 2 7 年度大学ポートレート ステークホルダー・ボードでの主な意見

### 【公表画面】

- 高等学校での進路指導では大学を比較するので、1つの画面で複数の大学が表示されることが望まれる。基本情報や入試選抜の形式を比較できるように考えてほしい。
- 学生からも同じようなタイプや分野の大学と比較したいという意見がある。
- リンクではなく、大学ポートレートの中だけで大学の姿を読み取れないと、大学独自のウェブサイトに直接アクセスした方がよいということになるだろう。
- 書式や定義など基本的なところを統一すれば見やすくなる。国公立で統一性・整合性があるべきではないか。また、各大学の手間も省かれる。これは民間にはできないこと。

### 【公表項目】

- 学部で学べることや就職先がわかるものが望まれる。カタカナや長い名称の学部では何を学べるのかがわかりづらい。進路指導についての情報や奨学金のフォローアップの体制の情報は重要。
- 中退率や定員充足率は大学を判断するのに必要な情報。それらがあると生徒に適した大学を選ぶ手段として価値あるものになる。
- 民間のウェブサイトと比べて足りない情報を増やしていくのではなく、大学ポートレートとして優位性のある情報を明確にすることが重要ではないか。
- 検索項目は利用者を誘導するので重要。「学費の支援」のような検索項目の設定があると大学ポートレートの存在感が増すだろう。
- 小規模な地方私立大学が定員を満たせない状況の中で、大学ポートレートがどこまでの情報を公表すべきか。
- 高校生や保護者、教師からのアクセスにつなげるには、説明ではなく解釈が必要ではないか。

### 【広報】

- 大学ポートレートは魅力不足でアクセス数が伸びていないのではないか。便利なウェブサイトであれば、高校生も教師も利用する。汎用性や使い勝手が課題ではないか。
- 現在のページビュー数では、活用されているとは言えないのではないか。